

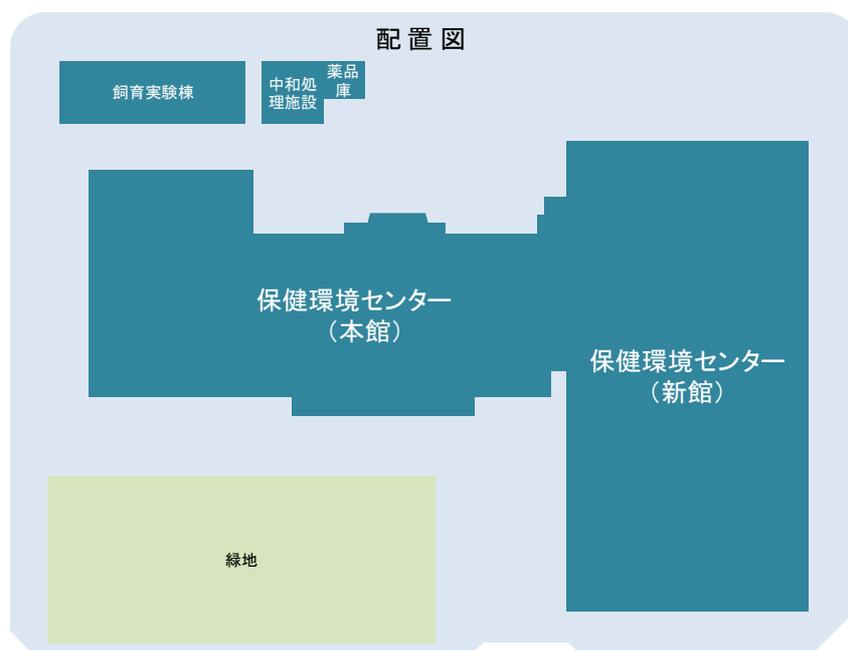
# I 総 説

## 1 沿革

- 昭和 16 年 5 月 広島県警察部衛生課分室として、広島市河原町に衛生試験室を設置
- 昭和 20 年 8 月 原子爆弾により衛生試験室を焼失
- 昭和 20 年 10 月 広島市袋町小学校内に衛生試験室を復旧開設
- 昭和 24 年 10 月 広島県衛生研究所設置条例の施行により広島市宝町に庁舎を新設し、広島県衛生研究所として発足
- 昭和 42 年 4 月 組織改正により公害部を設置
- 昭和 43 年 10 月 広島市宇品神田一丁目に衛生研究所庁舎を新設し、移転
- 昭和 46 年 4 月 設置条例の一部改正により公害部を廃止し、附属公害研究所を設置
- 昭和 52 年 4 月 広島市南区皆実町一丁目に現庁舎を建設し、広島県環境センターとして発足
- 昭和 53 年 4 月 本庁から大気汚染監視テレメーター中央監視局を環境センターに移設
- 平成 4 年 8 月 衛生研究所・環境センターの再編整備により、広島県保健環境センターとして発足
- 平成 16 年 9 月 感染症情報センターを保健環境センター内に設置
- 平成 19 年 4 月 県立試験研究機関の一元化により広島県立総合技術研究所保健環境センターとなり、センター内組織を総務企画部、保健研究部、環境研究部の三部に統合
- 平成 20 年 4 月 大気汚染監視システムの更新に伴い中央監視局の機能を本庁に移行
- 平成 25 年 4 月 広島県感染症・疾病管理センターの設置に伴い、感染症情報の公表機能を移行
- 令和 3 年 4 月 ひろしま気候変動適応センターを広島県立総合技術研究所保健環境センターに設置

## 2 庁舎の概要

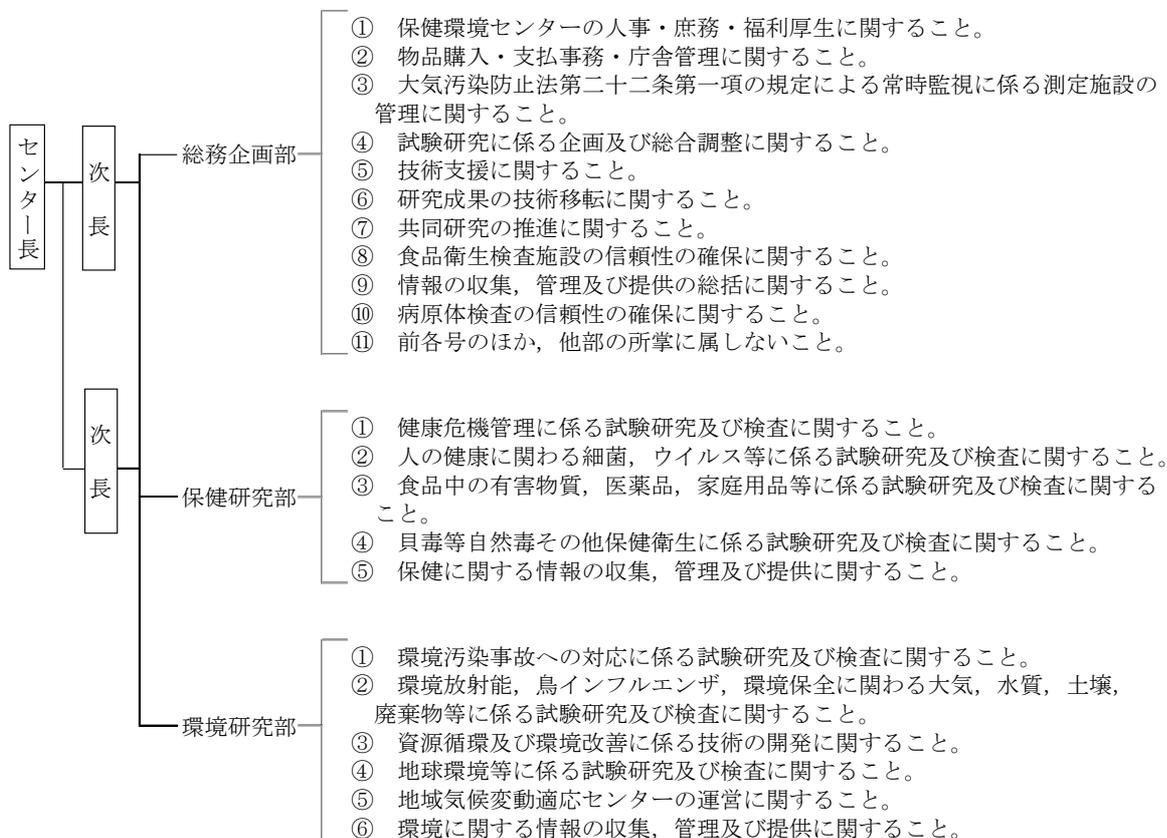
- (1) **位置** 〒734 - 0007 広島市南区皆実町一丁目 6 - 29 代表電話 (082)255 - 7131  
保健研究部 (082)255 - 7142  
環境研究部 (082)255 - 7145
- (2) **敷地** 7,083.19 m<sup>2</sup> (健康福祉センター分を含む)
- (3) **規模・構造** 保健環境センター総延床面積 8,386.60 m<sup>2</sup>  
(本館) 建築物 鉄筋コンクリート造、地上 6 階、地下 1 階、塔屋 2 階  
建築面積 870.94 m<sup>2</sup>、延床面積 5,480.04 m<sup>2</sup>  
(新館：健康福祉センター5・6 階及び地下 1・7 階の一部分) 延床面積 2,651.16 m<sup>2</sup>  
(飼育実験棟) 延床面積 246.4 m<sup>2</sup>  
(自転車置場) 延床面積 9.0 m<sup>2</sup>



### 3 事務の概要

#### (1) 組織と業務

令和3年4月1日現在



#### (2) 職員の配置

令和3年4月1日現在

区分	総務企画部	保健研究部	環境研究部	計
行政職	6			6
研究職	3	15	11	29
その他	1	1		2
計	10	16	11	37

※ センター長及び次長を含む。



## 4 研修・技術指導

### 4-1 講師等派遣

年月日	演 題 等	講演会等の名称・参加人員	主催機関	開催場所	担当部
R 3. 9. 24	自動車関連 LCA について	材料 MBR 勉強会 (49名)	材料 MBR 勉強会	Web 開催	環境研究部
R 3. 10. 15	分析法バリデーション	第 115 回 GMP 技術委員会 (28名)	広島県製薬協会	Web 開催	保健研究部
R 3. 11. 1 ～11. 14	日本薬局方の改正について	令和 3 年度 広島県医薬品等製造販売(製造)業管理者等講習会	健康福祉局薬務課長	e-ラーニング形式(動画配信)	保健研究部

### 4-2 技術研修

年月日	研修の名称	対象者	内容	担当部
R 3. 4. 5	有害大気汚染物質モニタリング試料採取方法研修	厚生環境事務所環境管理課(西部) (3名)	有害大気汚染物質のサンプリング方法の実習	環境研究部
R 3. 4. 6	有害大気汚染物質モニタリング試料採取方法研修	厚生環境事務所環境管理課(西部東) (2名)	有害大気汚染物質のサンプリング方法の実習	環境研究部
R 3. 4. 6	有害大気汚染物質モニタリング試料採取方法研修	厚生環境事務所環境管理課(東部) (2名)	有害大気汚染物質のサンプリング方法の実習	環境研究部
R 3. 4. 8	新型コロナウイルス検査に係る説明・技術指導	民間衛生検査所 (2名)	新型コロナウイルス検査指導	保健研究部
R 3. 6. 25	大気届出事務初任者研修	県・市町大気汚染防止法等担当者 (Web 開催 27名)	大気環境に係る試料採取方法等について	環境研究部
R 3. 10. 15	新型コロナウイルス検査に係る説明・技術指導	民間衛生検査所 (5名)	新型コロナウイルス検査指導	保健研究部
R 3. 10. 20	気候変動適応セミナー	県内事業者, 県民 (Web 開催 83名)	気候変動に関する情報提供	環境研究部
R 3. 10. 21	死亡野鳥の鳥インフルエンザウイルス保有状況検査研修	自然環境課 (2名)	検査マニュアルの説明及び検査施設の使用法実習	環境研究部
R 3. 10. 25 ～10. 27	保健所試験検査課等現任者研修(環境部門)	県立保健所 (2名)	フッ素分析の前処理操作の実習等	環境研究部
R 3. 10. 27 ～10. 29	保健所試験検査課等新任職員研修(理化学部門)	県立保健所 (3名)	食品添加物(着色料)の検査の実習等	保健研究部
R 3. 11. 15	新型コロナウイルス検査に係る概略研修	広島県職員(新型コロナ担当) (3名)	新型コロナウイルス検査指導	保健研究部
R 3. 12. 13 ～12. 14	保健所試験検査課等新任職員研修(環境部門)	呉市環境部環境試験センター (1名)	工場排水分析(COD, BOD等)の実習等	環境研究部
R 3. 12. 15	GC 分析条件の設定方法について	県立保健所, 食品工業技術センター (8名)	GC 分析条件の設定方法について	総務企画部
R 4. 1. 27	現場機能強化研修(分析研修)	厚生環境事務所環境管理課 (Web 開催 5名)	有害大気汚染物質モニタリング事業の概要	環境研究部

## 5 職員の研修

年月日	研修の名称・研修先	研修目的・内容	研修者氏名
R 4. 1. 12 ～1. 14	緊急時におけるガンマ線スペクトル解析法 (Web 研修, 日本分析センター)	事故時等の緊急時におけるガンマ線スペクトルの解析技術の習得	環境研究部 中廣 賢太

## 6 主要備品

品 名	数 購 入 量 年月日	品 名	数 購 入 量 年月日
透過型電子顕微鏡	1 H 4. 7. 20	超遠心機	1 H25. 3. 14
走査型電子顕微鏡	1 H 4. 7. 20	ガスクロマトグラフ質量分析装置(四重極)	1 H25. 10. 1
蛍光微分干渉顕微鏡	1 H 9. 3. 31	液体クロマトグラフ四重極飛行時間型質量分析装置	1 H26. 2. 1
高速溶媒抽出装置	1 H11. 11. 19	イオンクロマトグラフ装置	1 H26. 2. 1
高分析能ガスクロマトグラフ質量分析装置	1 H11. 12. 27	アスベスト測定用分析走査電子顕微鏡	1 H26. 11. 1
高速液体クロマトグラフ装置(HPLC)	1 H12. 2. 18	オートアナライザー	1 H27. 9. 30
ICP 発光分光光度計	1 H17. 12. 1	マイクロウェーブ試料前処理装置	1 H29. 3. 22
蛍光 X 線分析装置(波長分散型)	1 H17. 12. 1	ガスクロマトグラフタンデム型質量分析装置	1 H29. 9. 1
ガスクロマトグラフ装置	1 H18. 3. 30	全有機炭素計(TOC)	1 H29. 9. 1
遺伝子増幅装置(リアルタイム PCR)	1 H21. 12. 15	液体クロマトグラフタンデム型質量分析装置	1 H30. 11. 1
P 3 壁面大型オートクレーブ	1 H22. 3. 3	マイクロプレートリーダー	1 R 元. 8. 22
赤外分光光度計(FT-IR)	1 H22. 3. 18	ICP 質量分析装置	1 R 元. 12. 25
キャピラリー DNA シーケンサー	1 H25. 1. 31	遺伝子増幅装置(リアルタイム PCR)	1 R 2. 3. 9
DNA/RNA 分析用マイクロチップ電気泳動装置	1 H25. 2. 8	次世代シーケンサー	1 R 2. 3. 18
パルスフィールド電気泳動装置	1 H25. 2. 14	大気自動濃縮装置	1 R 2. 10. 1
自動細菌同定感受性検査装置	1 H25. 2. 14	有機元素分析装置	1 R 4. 3. 1
遺伝子増幅装置(リアルタイム PCR)	1 H25. 3. 1		

(注)装置の略号 LC : 液体クロマトグラフ装置, GC : ガスクロマトグラフ装置, ICP : 誘導結合プラズマ装置,  
QTOF : 四重極飛行時間型, MS : 質量分析装置, MS/MS : タンデム型質量分析装置

## 7 定期購読図書

雑誌名	出版・発行元	発行回数
① 食品衛生研究	(社)日本食品衛生協会	月 1 回
② 臨床と微生物	(株)近代出版	年 7 回
③ 環境情報科学	(一社)環境情報科学センター	年 4 回
④ 月刊廃棄物	日報ビジネス(株)	月 1 回
⑤ 都市と廃棄物	(株)環境産業新聞社	月 1 回
⑥ 官公庁環境専門資料	plus81(有)	年 6 回
⑦ 月刊海洋	海洋出版(株)	月 1 回
⑧ 用水と廃水	(株)産業用水調査会	月 1 回

## 8 センター刊行物

発行年月	誌 名	判	頁数
R3.12	広島県立総合技術研究所保健環境センター研究報告第 29 号	A4	42